



エアピュアレによるアンモニアの分解実験

市販のアンモニア水溶液とpH試験紙を使ったエアピュアレの吸着・分解実験です。目に見えない効果を色の変化で表すことで、分かりやすくご覧いただけます。

【中性】
実験開始時



アルカリ性
アンモニアガス充滿

●実験概要

蓋付の密閉容器を2個準備し、蓋の内側にはそれぞれpH試験紙を2片ずつセット。一方の容器にはエアピュアレを封入し、「エアピュアレあり」とし、他方には、何も封入せず、「エアピュアレなし」としました。両容器に同量のアンモニア水を滴下し、時間経過に伴うpH紙の変化を比較しました。



実験開始



1. アンモニア水溶液を4滴ずつ滴下。
(臭気強度2.5~3程度)

30秒経過



2. 容器内に発生したアンモニアガスにより、pH試験紙は徐々に黄色から赤色に変化。

3分経過



7分経過



3. 「エアピュアレあり」の容器では、エアピュアレのはたらきにより、アンモニアガスが吸着・分解され、赤色から黄色に変化。

10分後



4. 「エアピュアレなし」の容器では、アンモニアガスが充滿し、赤色(強アルカリ性)状態が保持。